

「第四地区まちづくり活動計画」の概要

まちづくり活動計画とは、長野市地域福祉計画に沿って、地区ごとに住民自治協議会が中心になって策定する計画のことです。

第四地区は、福祉に限定せず、環境、安全、防犯、防災などを総合的に含めた「まちづくり活動計画」として平成30年度から平成34年度（2022年度）の第二次まちづくり活動計画を策定し、今後5年間の事業の指針とするものです。

高齢化の進行と公的保険制度への
依存の高まり

1. 住民の健康寿命を延ばす取り組み

数少ない若者も参加する地域活動

2. 地区内に住む学生などが地域活動に積極的に参加する（できる）基盤を作る

第四地区に定住する人を増やす

3. 減少を続ける地区人口の減少ストップと増加への取り組み

事業 No1 健康寿命を延ばそう！

事業目標

平均寿命が伸び続ける現在、介護保険等の世話にならずに生活できる期間を少しでも長くする、いわゆる「健康寿命」の延伸に取り組む

事業内容

地区内の拠点で、定期的に「健康体操教室」の開催、高齢者同士が交流する「いきいき交流会」、スポーツ大会などを開催する。

事業 No2 地区内に住む学生など 若者ととともに地区事業を展開しよう！

事業目標

県立大象山寮、信大あけぼの寮の学生らと交流し、地区の事業に積極的に参加できる基盤を作り、年代の壁を取り払い、地区住民と一体となって事業を展開する。

事業内容

第四地区の情報を内外に発信するガイド誌の編集、スポーツ大会の運営などを手始めにして、学生などの若者の地区運営参加を促し、過去に囚われない斬新なアイデアを入れた地区の事業を展開する。

事業 No3 地区人口減少ストップ！

事業目標

第四地区の人口減少をストップさせ、増加に向けて、地区の魅力がアップする事業を行い、平成29年度の地区内人口（2,725人）を下限とすることを目標に事業展開する。

事業内容

第四地区の魅力を地区住民に再認識してもらって長く住み続ける人を増やし、並行して地区外にも魅力を発信し、第四地区にUターン、Iターンする人を増やすための施策を模索し、活動する。